

# ■大田区コミュニティサイクル事業の本格実施への移行について

## 1. 現状について

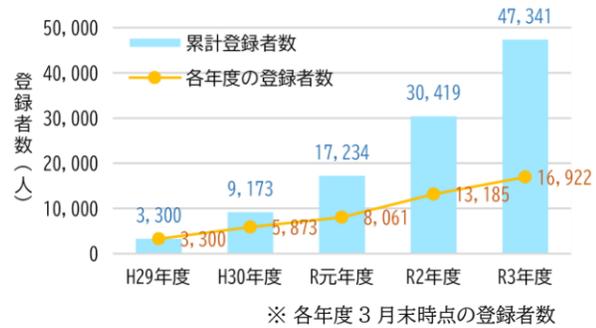
### (1) 事業の位置づけ

- 現在、区で実施しているシェアサイクル事業の大田区コミュニティサイクル事業は、平成 23 年3月に策定した「大田区自転車等総合利用基本計画」に位置付けられ、平成 27 年度に導入基礎調査を実施しました。その結果をもとに導入施策を検討し、平成 29 年 3 月から 3 年間の試行事業を実施しました。
- 試行事業最終年度となる令和元年度に、利用状況や期待される事業効果等を検証した結果、今後の利用増加が見込まれました。その結果をもとに、本格事業の実施へ移行するための条件値を設定しました。
- 令和2年度からは、条件値への推移を管理するために、新たに検証期間を設けて、本格事業の実施への移行の可否を検討するための検証事業を実施しました。
- 平成 30 年度からは自転車シェアリング「広域相互利用」に参加したことにより、令和4年8月末では大田区含め 14 の特別区(広域連携締結区)との相互乗り入れが可能となっています。

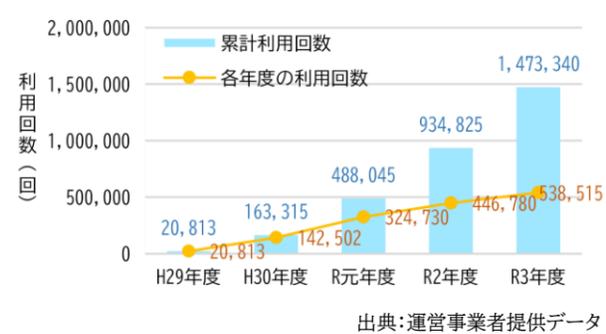
### (2) 会員登録者数・利用回数の実績

- 会員登録者数、利用回数ともに増加を続け、令和 3 年度末時点で累計利用回数は約 147 万回となりました。

■累計登録者数と年度別登録者数の推移



■累計利用回数と年度別利用回数の推移



### (3) サイクルポートの設置数

- サイクルポートの数も増加を続けており、令和3年度末時点で 113 箇所となりました。

■年度ごとのポート設置数

- 平成 29 年度 42 ポート
- 平成 30 年度 66 ポート
- 令和 元 年度 76 ポート
- 令和 2 年度 89 ポート
- 令和 3 年度 113 ポート

■大田区のポートの分布状況(区内その他 113 箇所 (R3 年度末時点))



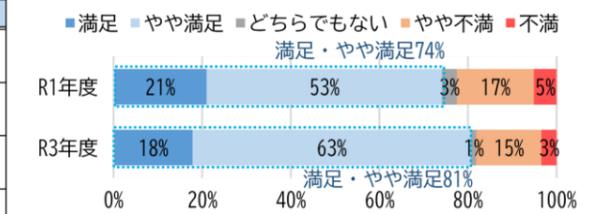
## (4) 事業効果及び事業評価

- 令和元年度の効果検証時と比べて、観光振興や回遊性の向上等についても一定の効果が得られ、利用者からの評価も高くなっています。

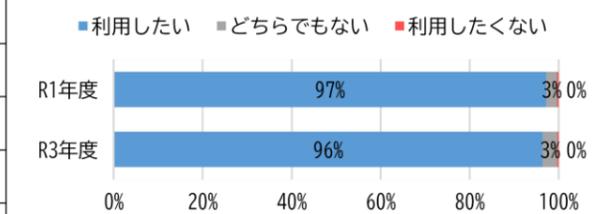
■事業効果の検証

	評価指標	令和元年度	令和3年度
観光振興	観光振興に資する施設周辺へのポートの設置数	2 箇所	7 箇所
	観光目的での利用者割合	10.2%	14.3%
回遊性向上	利用者 1 人あたりの 1 日平均利用回数	1.6 回/日	1.7 回/日
	立ち寄り施設の増加割合	64.8%	65.3%
公共交通の補完	利用者ニーズを踏まえた駅周辺へのポート設置数	6 箇所	19 箇所
	交通不便地域へのポート設置数	7 箇所	7 箇所
放置自転車の削減	転換前の路上駐輪経験者の割合	1.8%	1.7%
環境負荷の軽減	自家用車・バイクからの転換者の割合	2.3%	2.9%
健康増進	健康増進のために利用する人の割合	29.7%	30.2%

■事業評価【利用者満足度】



■事業評価【今後の利用意向】



出典:運営事業者提供データ

## 2. 本格実施に向けた条件について

- 令和元年度に行った効果検証において、「十分な需要を実現し、適正な供給量を整備することで、事業収支が成り立つことが判断できること」を条件として、現状の利用実態や事業の収支状況を踏まえ、以下の指標を本格実施に向けた条件として設定しました。
- 令和 3 年度末の時点でその条件値を上回りました。

■本格実施に向けた条件と達成状況

指標	条件値	令和3年度末	達成状況
累計利用回数	120 万回	約 147 万回	達成
ポート設置数	90 箇所	113 箇所	達成
事業収支	単年度収支 2年連続黒字	単年度収支 2年連続黒字達成	達成

■(参考) 広域連携締結区との事業実施状況の比較

連携区	事業開始時期	累計利用回数	ポート数	本格実施
江東	H24.11	約 1,130 万回	150	○
千代田	H26.10	約 660 万回	94	○
港	H26.10	約 1,000 万回	147	○
中央	H27.10	約 650 万回	67	○
新宿	H28.10	約 360 万回	91	○
文京	H29.1	約 270 万回	71	○
大田	H29.3	約 147 万回	113	未
渋谷	H29.10	約 220 万回	60	○
品川	H29.10	約 280 万回	88	○
練馬	H29.10	約 47 万回	58	未
目黒	H31.1	約 63 万回	49	○
中野	R2.7	約 14 万回	31	未
杉並	R4.2	約 1,200 回	18	未

※令和3年度末時点

## 3. 今後について

- 大田区コミュニティサイクル事業は、事業開始から安定して利用者を増やしています。
- 利用者からの評価も高く、観光や健康等にも良い効果が生まれてきています。
- 令和 3 年度末の時点で本格実施に向けた各条件が達成されました。
- 「大田区自転車等総合計画」に係る施策を審議する「大田区自転車等駐車対策協議会」にて、本格実施への移行について了承を得ました。

令和4年度中の本格実施に向けて、引き続き関係機関との調整等を行ってまいります。